

令和6年2月8日

都城市議会
議長 長友 潤治 様

広報広聴委員会
委員長 中村 千佐江

広報広聴委員会報告書

令和4年第2回都城市議会定例会において、閉会中も継続して調査するものとして申し出た事件について、その調査結果を会議規則第109条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 調査事項

- (1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について
- (2) 議会報告会の実施に関する事項について
- (3) 意見交換の場に関する事項について

2 本市議会における現状及び課題等について

- (1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について

議会だよりは、定例会後の翌々月15日前後、年4回発行となっている。定例会終了後すぐに委員会を開催し、委員による記事作成が行われ、編集、校正のための委員会の開催は、各号3～4回ほどに及ぶ。

読みたくなる紙面を追求すると、協議の時間が長くなり、委員への負荷が大きいというえに、委員によってスキルに差があり、特に一部委員への負荷の偏りが見られる。

また、カラーページである表紙と裏表紙面もコンテンツの一つと捉えることで、伝えたい情報をより正確に伝えることができるとの意見で一致し、市民からも好評をいただいている一方、要項には、裏表紙の掲載事項が細かく規定されているため実際の内容に沿っておらず、見直しの必要がある。

- (2) 議会報告会の実施に関する事項について

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度の開催の判断も難しいものがあったが、オンラインでの開催を決定し、令和4年度、5年度ともにオンライン開催となった。初めての開催のため、準備や機器の設定等に不安があったため、年度内一度のみの開催であった。アーカイブ視聴ができることもあり、

それまでの年4回開催の必要性について今後検討する余地がある。
対面開催の際には来場が少なく、ターゲット層としつつ成果の表れなかった40代からの視聴やコメントも多くあった。

一方、これまで対面形式の議会報告会に来場してくれていた高齢者層は視聴できないとの声もあり、対面での開催への要望も根強くあるため、市民が来場しての報告会をオンラインにて配信するハイブリッド開催について検討する余地がある。

(3) 意見交換の場に関する事項について

市民団体等からの申し込みによって随時開催している。

令和4年度には、ビーコンエコプロジェクト様（コンポストについて）、県立都城西高等学校2年生（探究活動の一環）と、令和5年度は、県立都城泉ヶ丘高等学校定時制課程全生徒（主権者教育）、スマイルたんぽぽ様（医療的ケア児・者保護者について）との意見交換を行った。

市民団体の方々、議員側の双方、および議会だよりをご覧になった市民からも好評をいただき、委員会としては、積極的に開催したいと考えていたが、議会だより編集作業の時間的負荷が大きく、議会側から働きかけを行うに至っていない。

3 調査・活動の経過

令和4年

日 程	活 動	内 容
2月28日	委員会 (委員間討議)	1 閉会中の所管事務調査申出について ○ 議会広報紙の発行、議会報告会の実施、意見交換の場に関する事項、市議会基本条例の運用基準における広報広聴委員会に関する部分（フェイスブックの掲載事項等）について継続調査とすることとした。 2 市議会だより No. 33 について 3 その他
3月28日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 33 について 2 南九州大学新入生オリエンテーションへの参加について 3 その他
4月8日	南九大 新入生オリエン テーション参加	成合委員・楠見委員出席 1 市議会の紹介 2 意見交換会の申し込み呼びかけ
4月11日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 33 の校正について 2 その他

4月18日	委員会 (委員間討議)	1 議会だより No. 33 の校正について 2 意見交換会について 3 議会報告会について 4 各種要項作成について 5 その他
4月28日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会について 2 その他
5月16日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会の反省について 2 その他
6月6日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 34 について 2 議会報告会について 3 その他
7月6日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 34 の校正について 2 その他
7月12日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 34 の校正について 2 SNS 発信に係る要項の作成について 3 その他
7月14日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 34 の校正について 2 SNS 発信に係る要項の作成について 3 その他
8月2日	委員会 (委員間討議)	1 市議会ホームページに関する要項について 2 議会報告会について 3 その他
8月23日	委員会 (委員間討議)	1 市議会ホームページに関する要項について 2 その他
9月2日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 35 について 2 議会報告会について
9月2日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だよりについて 2 その他
9月14日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について 2 その他
10月7日	行政視察対応	長野県佐久市議会
10月12日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 35 の校正について 2 行政視察について
10月18日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 35 の校正について
10月25日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 35 の校正について 2 その他
11月14日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について 2 市議会だよりの表紙に掲載する写真について
11月18日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について (オンラインテスト)
11月29日	委員会	1 議会報告会について

	(委員間討議)	2 市議会だより No. 36 について 3 市民から寄せられたはがきについて 4 定例会開催に係る新たな周知について 5 その他
12月23日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 36 の校正について 2 意見交換会について 3 定例会開催に係る新たな周知について 4 その他

令和5年

日程	活動	内容
1月6日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 36 の校正について 2 意見交換会について 3 議会報告会について
1月13日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 36 の校正について 2 意見交換会について 3 議会報告会の告知について (ラジオ出演)
1月16日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会について
1月18日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 36 の校正について 2 意見交換会について 3 議会報告会について
1月30日	MRT ラジオ出演	森委員・成合委員 1 議会報告会の開催告知
2月1日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について
2月7日	議会報告会 リハーサル	1 議会報告会リハーサル
2月10日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について 2 その他
2月24日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 37 について 2 議会報告会の意見に対する回答について 3 その他
3月6日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会の意見に対する回答・アンケートについて
4月6日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 37 の校正について 2 今後のスケジュールについて
4月7日	南九大 新入生オリエン テーション参加	中村委員長・森委員出席 1 市議会の紹介 2 意見交換会の申し込み呼びかけ

4月13日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 37 の校正について 2 行政視察対応について 3 市議会ホームページに関する要項の作成について
4月18日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 37 の校正について 2 行政視察対応について
4月19日	行政視察対応	中村委員長・音堅副委員長 愛媛県西条市議会
4月26日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 37 の校正について 2 市議会ホームページに関する要項の作成について
5月12日	委員会 (委員間討議)	1 行政視察対応について 2 市議会ホームページに関する要項の作成について 3 ふれあいアンケートの設問について 4 今後の広報活動について 5 行政視察について
5月17日	行政視察対応	中村委員長・森委員 熊本県菊池市議会
6月12日	委員会 (委員間討議)	1 市議会ホームページに関する要項について 2 市議会だより No. 38 について 3 市議会ホームページトップ画面の写真について 4 行政視察について 5 行政視察対応について 6 職場体験について 7 その他
7月7日	行政視察対応	森委員・楠見委員 佐賀県神崎市議会
	職場体験受入れ	小松原中学校3年生 2名
	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 38 の校正について 2 その他
7月12日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 38 の校正について 2 行政視察について 3 行政視察対応について
7月19日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 38 の校正について 2 行政視察対応について
7月21日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 38 の校正について 2 行政視察について 3 行政視察対応について
7月24日	行政視察対応	中村委員長・音堅副委員長 えびの市議会

7月27日	行政視察対応	中村委員長・音堅副委員長 埼玉県戸田市議会
8月4日	委員会 (委員間討議)	1 研修の振り返りについて 2 議会報告会について 3 行政視察について 4 泉ヶ丘高校定時制での議員講話について 5 行政視察対応について 6 都城市議会フェイスブック運用要綱について 7 次回の広報広聴委員会について 8 今後の市議会だよりについて 9 その他
8月21日	委員会 (委員間討議)	議会改革特別委員会と合同開催 1 政策形成ガイドラインについて 2 その他
9月1日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 39 について 2 行政視察について 3 行政視察対応について 4 議会報告会について 5 令和6年度の市議会だよりについて
10月4日	行政視察	北海道鷹栖町議会（オンライン視察） ○議会広報・広聴活動、議会改革について
	委員会 (委員間討議)	1 行政視察の振り返り 2 泉ヶ丘高校定時制での議員講話について
10月10日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 39 の校正について 2 基本条例の検証について
10月16日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 39 の校正について 2 泉ヶ丘高校定時制での議員講話について 3 10月17日の広報広聴委員会での協議事項について 4 基本条例の検証について 5 行政視察報告書について
10月17日	委員会 (委員間討議)	長内アドバイザー出席 1 議会報告会について 2 その他
10月20日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 39 の校正について 2 議会報告会について
11月1日	委員会 (委員間討議)	長内アドバイザーオンライン出席 1 議会報告会について 2 泉ヶ丘高校定時制での議員講話について

		3 今後の議会だよりと議会広報等について
11月7日	議員講話 意見交換会	広報広聴委員7名参加 都城泉ヶ丘高校定時制での議員講話と意見交換会
11月10日	委員会 (委員間討議)	1 都城泉ヶ丘高校定時制での議員講話の振り返り 2 基本条例の検証について
11月24日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会について 2 基本条例の検証について
11月29日	委員会 (委員間討議)	1 意見交換会について 2 市議会だより No. 40 について 3 議会報告会について
12月22日	委員会 (委員間討議)	1 議会報告会について 2 行政視察対応について
12月25日	議会報告会 リハーサル	広報広聴委員会・副議長・各委員会正副委員長参加 議会報告会リハーサル
12月26日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 40 の校正について 2 議会報告会について

令和6年

1月10日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 40 の校正について 2 議会報告会について
1月16日	委員会 (委員間討議)	1 市議会だより No. 40 の校正について 2 意見交換会について 3 行政視察対応について

4 調査の内容

(1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について

① 議会広報誌の編集、発行について

市議会だよりを年4回、計8回発行した。

- ・ 令和4年5月15日 No. 33 発行
- ・ 令和4年8月12日 No. 34 発行
- ・ 令和4年11月13日 No. 35 発行
- ・ 令和5年2月15日 No. 36 発行
- ・ 令和5年5月14日 No. 37 発行
- ・ 令和5年8月10日 No. 38 発行
- ・ 令和5年11月15日 No. 39 発行
- ・ 令和6年2月15日 No. 40 発行予定

見開き2ページを活用しての記事作成や、大幅な文字削減と写真での訴えによるページ改変等、新たな試みに積極的にチャレンジした。また、委員全員の写真も好評であった。

表紙写真の公募を開始したが、採用に至っていないことや、39号、40号では議員全員写真を使用したことを鑑みると、募集の継続の必要性について検討の余地がある。

また、担当を交代制にすることで、多様性を担保したが、その分、前回の反省を生かす場を持たなくなることも課題として残った。

② 議会公式Instagramの開設について

平成26年より都城市議会公式Facebookページが運用されており、令和6年2月現在フォロワー数784名である。が、Facebook閲覧者数の減少が指摘されている中、若年層の利用の多いInstagramでの発信の必要性も感じ、令和5年5月、市議会公式Instagramを開設した。フォロワー数は92名。

原則、Facebookとの連携によって同じ内容が発信されている。Facebook同様、議会事務局によって運営されている。

フォロワー数は少ないが、研修会やオンライン議会報告会中にインスタライブを行った際には、複数のフォロワーによって視聴されている。

③ 都城市公式LINEによる情報発信について

市公式LINEにおいて、定例会の開催についてや、一般質問の登壇者についてなどを、主に前日に配信している。市議会公式YouTubeチャンネルのリンクをはっている。

欲しい情報で「市議会」の項目にチェックを入れた方に対して配信されている。令和4年度より活用されている。

写真や文字数など市広報の規定によるところが大きく、議会事務局に一任している。

④ 北海道鷹栖町の取組について

北海道鷹栖町における議会広報の取組についてオンラインでの視察を行った。議会だよりよりも、定例会の告知に対するチラシに委員の関心が強く、チラシへの質問が相次いだ。

(ア) 本市の状況について

定例会前の告知は、主に、FacebookやInstagram等、事務局主導となっている。市公式LINEを利用するなど、以前より積極的に告知しているが、議会だより等、終わった後の告知に大きく時間を割いている。

(イ) 鷹栖町の取組について

議会だよりよりも、定例会の告知に対するチラシに注力されている。3期連続無投票だったことから、議会への無関心に対する危機感を持ち、インパクトのあるチラシで定例会への傍聴案内を促すことになった。家電量販店風や、映画ポスター風のチラシなど、インパクトの強いチラシは賛否両論ある

が、議会に対し関心を持ってもらうためと、様々なご意見を受け止めている。

鷹栖町では、議長を除く 11 名の義医全員が広報広聴常任委員会に所属し、議会報作成と、それ以外を担当する班に分かれて活動し、1 年で担当を後退している。それでも、チラシについては、制作する議員 1 人に負担が偏っていることと、加えて、チラシが傍聴者増加の直接の要因になっていないことも多く、関心を持ってもらうためには様々な工夫が必要との話であった。

また、鷹栖町では、一般質問への「通知表」制度を導入し、声のトーンや、質問の明確さ、テーマ設定など、傍聴者を意識した質問に改善してきている。

平成 28 年度から導入している日曜議会では、平日開催よりも多くの傍聴者がいる。平日には来場が難しいであろう世代の来場もある。

(2) 議会報告会の実施に関する事項について

① 令和 4 年度議会報告会について

◆開催日時：令和 5 年 2 月 13 日（月）19：00～20：00

議場において実施し、議会公式 YouTube チャンネルにて配信した。当日の視聴者は約 40 名。令和 6 年 2 月現在、再生回数 514 回。

4 常任委員会ならびに議会運営委員会、広報広聴委員会、議会改革特別委員会、都城志布志道路建設対策特別委員会の委員長が、各委員会の活動について 3 分前後の報告を行った。4 常任委員会は主に、令和 4 年 12 月定例会での審査内容において、市民生活で身近に感じるものについて、委員会でのどのような質疑応答を行ったのかを報告した。

報告に対し、YouTube のコメント欄に市民からのコメントが入り、最後に回答した。回答は、届いたものをホワイトボードに提示し、質問に該当する常任委員会が事前に話し合い、委員長が答えるというものであった。そのために、常任委員会ごとに着席していた。

報告と質疑応答のいずれも、委員長が行ったため、他の議員が画面に映る場面がなかった。

Google フォームによって募ったアンケート結果では、オンライン開催についておおむね好評であった。市内外の方に広く見てもらえるため、本市出身者や、他市の同業者の視聴があると見ている。

② 令和 5 年度議会報告会について

◆開催日時：令和 6 年 1 月 17 日（水）12：00～13：35

議場において実施し、議会公式 YouTube チャンネルにて配信した。また、途中からは、インスタグラムでのライブ配信も同時に行った。双方合わせての当日の視聴者は約 40 名。令和 6 年 2 月現在、再生回数 614 回。

前年度に開催した平日夜の時間帯は、主婦層が見られないのではないかという意見があり、昼間、働く世代がちょっと覗いてくれるようにと正午からの開催とした。

議会アドバイザーである長内紳悟氏に司会進行をお願いした。4 常任委員会

および議会運営委員会、広報広聴委員会、議会改革特別委員会の計7委員会の活動について、インタビュー形式で報告を行った。都城志布志道路建設対策特別委員会は、活動がなかったため報告を行っていない。

午前中、四日市市議会広報広聴委員会が本委員会に視察におみえになり、議会報告会にもゲスト参加していただいた。

配信中にコメント欄に寄せられた質問に答えるスタイルは、前年度と同様であったが、今回、zoomを使用することで、全議員が画面に映ることができた。また、委員会の報告中には、委員が座席を移動し、委員会全体でインタビューに答えたので、ほとんどの議員が発言の場が与えられた。

視聴数は、前回より格段に伸びているが、Google フォームによるアンケートは、回答数が非常に少ない。

(3) 意見交換の場に関する事項について

① ビーコンエコプロジェクト

◆開催日時：令和4年5月16日（月）10：00～11：30

◆会場：中央公民館大会議室

◆テーマ：「都城市が環境負荷の少ない持続可能な社会となるために」

◆参加者：ビーコンエコプロジェクト4名、議員10名（広報広聴委員、産業経済委員）、傍聴議員4名。

環境問題における生ごみをはじめとするごみの減量等について、旧都城市で交付していた生ごみ処理機に対する補助金の実績や、新しいクリーンセンターの稼働とリサイクルの関係、コンポストの多様な活用方法などの意見を交え、処理の在り方や生ごみ処理機に対する補助金の必要性等、幅広く積極的な意見が出された。

② 県立都城西高等学校2学年

◆開催日時：令和5年1月25日（水）15：30～16：30（6限目）

◆会場：宮崎県立都城西高等学校視聴覚室

◆目的：都城西高校が取り組む探究活動を通じて、地域が抱える課題や解決策について生徒自らが調査してまとめ上げたものを発表してもらい、議員の視点による意見を交換することで、生徒の地域社会参画への意識情勢と、議員の政策立案能力の強化や市民の意見把握を諮る目的で開催した。

◆参加者：都城西高校2年生4グループ13名、議員24名。

4つのグループは、それぞれに

- ① 「都城を活性化させよう」
- ② 「災害の被害を最小限に」
- ③ 「空き家を利用して高齢者が安心して暮らせるまちづくり」
- ④ 「お年寄りが住みやすいまちづくり」

をテーマとして発表を行い、テーマ毎にグループに分かれて意見交換を行った。議員からも積極的に質問やアドバイスをするなど、活発にやり取りがなされた。

③ 県立都城泉ヶ丘高等学校定時制課程

- ◆開催日時：令和5年11月7日（火）17：50～19：10
- ◆テーマ：「主権者として、身近な存在の市議会議員について理解する」
- ◆会場：宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校3階大会議室 ほか
- ◆参加者：都城泉ヶ丘高校定時制課程全55名、議員7名（広報広聴委員）。

市議会議員については、身近でありながら、その活動や成果についてはよく分からないところがある。前期で「選挙」について学んでいたため、後期では「選挙で選ばれた議員」から、日頃の活動について直接話を聞きたいとの希望を受け、市議会議員について理解し、一市民として果たすべき役割を認識し、公民としての資質を養う一助とすることを目的とした。

2部構成とし、前半は、市議会についてスライドを使用して説明した。高校生に興味を持ってもらえるよう、高校に隣接する「都城運動公園」を例に、議会活動について紹介した。その後、議員が、議員になったきっかけなどについて自己紹介を行った。

後半では、学年ごとのグループにわかれ、議員と意見交換を行った。高校生からの意見が出やすいよう、「議員になって良かったこと」などが書かれた質問カードを使った。高校生からは、日常生活で困っていることや、もっとこうなったらいいと思っていることなどの意見が出された。

④ スマイルたんぽぽ

- ◆開催日時：令和6年1月18日（木）10：00～11：30
- ◆テーマ：「医療的ケア児（者）の日常を守るための福祉の拡充について」
- ◆会場：都城市役所南別館4階会議室
- ◆参加者：スマイルたんぽぽ6名、議員19名

令和5年11月に同団体より提出された要望書の内容に沿って、医療的ケア児（者）とご家族の日常について団体からの説明が行われた。

学校以外に生活の場がほとんどなく、ショートステイの場が非常に限られるため利用が難しく、家族のレスパイアが喫緊の課題であることが語られた。

就学に関しては、車中でも医療的ケアが必要であるため、医療的ケア児（者）の移動は大変困難であり、学校の送迎も1人では難しく、訪問教育を選択するケースが多い。地元への通園、通学を希望しても、看護師配置が難しいとの理由から断られることもあるため、希望による看護師配置が強く望まれている。

母親の就労も大変厳しいところであるが、働き手不足が言われている昨今、行政の支援によって働く意思を持つひとが働ける社会を実現することで、医療的ケア児（者）の家族が社会的な繋がりを持てる手段となりうる。

参加議員の多くが医療的ケア児（者）および家族の現状を少なからず理解するこ

とができた。今後、当事者の苦しみに寄り添いながら、行政に向き合っていくことを共有した。

5 委員会としての意見

(1) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項について

議会だよりの改変に対し、市民からの多くの好評をいただき、議会だよりの媒体が多く手に取られていること、信頼性が高いことを実感した。が一方、先進自治体では、表決結果や討論の経過などは記載を簡潔にし、「これからの議会に関心をもってもらおう」ためのツールとして捉えていることも知った。

議会だよりについては、ページ数やカラーページの導入だけでなく、抜本的な中身の議論がなされていく必要があると感じつつ、時間のなさから、原則現状維持となった。

これは、議会だよりの作成における委員への負荷が大きすぎるのが一因である。オンライン視察を行った鷹栖町の他、近隣では小林市においても、4年間の任期中、全員が広報広聴委員会に所属することになっている。全議員が関わる仕組みづくりが急がれる。

(2) 議会報告会の実施に関する事項について

オンライン開催が好評であるため、今後もオンラインでの開催が主流になると思われる。傍聴者を入れるかどうか、傍聴者のご意見をこちらから伺うのかどうかといった課題が出てくると思われる。

また、以前のように、地区を巡回しつつ、巡回先からのオンライン配信も望まれている。宮崎市議会が行っているような形態が理想形であると思われるが、配信機器の接続等難しいものがあるため、現段階では現実的でないとする。

また、令和6年開催時に、四日市市議会からゲスト出演があったことも大変好評であった。このような機会はレアであると思われるが、積極的に取り入れていくと良いと思われる。

(3) 意見交換の場に関する事項について

都城西高校との意見交換が特にインパクトが強かったようで、複数の視察にてお尋ねされることとなった。本議会の議員も、若い感性に触れ、非常にいい刺激をもらったように感じ、このような取り組みを増やしてほしいとの声が、議会内でも複数上がった。

が、先述の通り、議会だよりの編集による広報広聴委員の時間的負荷によって、現実厳しいものがある。

また、高校生からの意見や調査研究結果を、広聴の結果として今後の政策立案に生かす考えを持たずに対応したのは惜しいことであった。